

2015年度版『100都市保育力充実度チェック』訂正

2015年度版『100都市保育力充実度チェック』について、下記とおりに訂正いたします。

1) 文京区の認可保育施設0歳児利用児童数の回答変更に伴う訂正

「データ2」における文京区の認可保育施設0歳児児童数が「0」となっておりましたが、その後「349人」であったことが確認されました。これにより、下記の各数値が変更になります。

【16ページ】

データ2 認可保育施設・事業の入園状況 *いずれも進級・継続児を含む。

全年齢(以下、すべて2015年4月入園での状況)						0歳児			
	待機児童数	申込児童数	利用児童数	認可保育未決定児童数	進級を含む利用決定率	申込児童数	利用児童数	未決定児童数	利用決定率
文京区	69	3,648	誤 3,002 正 3,351	誤 646 正 297	誤 82.3% 正 91.9%	446	誤 0 正 349	誤 446 正 97	誤 0.0% 正 78.3%

これにより、99市区全体の集計をした以下の記事も訂正になります。

【4ページ】

(小見出し) 「2 99市区の「認可に入れなかった子ども」は全国待機児童数の2.4倍」

(本文冒頭) データ2に示したとおり、「認可保育施設・事業に申込をしたが入園決定しなかった児童数」(辞退も含む)は、有効回答99市区の合計で54,739人、
誤 54,739人→正 54,390人

(小見出し) 「3 1歳児よりも0歳児が入りやすい状況が続く」

(本文冒頭) 今年度から新たに調べている利用決定率は、進級(継続)児童も含めた利用申込児童のうち、何%が入園・継続できたかという数字で、有効回答した99市区の平均で91.3%となった。

誤 91.3%→正 91.4%

(本文5行目) 有効回答99市区の平均で1歳児が82.2%、0歳児は83.8%

誤 83.8%→正 84.6%

2) 育休退園となる自治体の欠落についての訂正

列挙した自治体に「平塚市」が欠落していた。(ただし平塚市は平成28年度からは下の子満1歳の月末まで上の子<全年齢>の在園を認めている)。

【6ページ】

(小見出し) 「7 「育休退園」は減っている」

(本文9行目以降)

[2014年度に育休退園になると回答した自治体=7自治体]

鎌倉市(2歳未満児)、八千代市、平塚市、静岡市、堺市、熊本市(3歳未満児)、岡山市(5歳未満児)

[2015年度に育休退園になると回答した自治体=4自治体] →所沢市を含めると5自治体
平塚市、静岡市、熊本市(3歳未満児)、岡山市(5歳未満児)

*所沢市の回答は明確ではないが、現時点で3歳未満児は退園。

以上

保育園を考える親の会 2016年1月12日作成